

空き家残置物の再販流通ネットワークの構築による除却促進モデルの開発 (NPO法人Goodstock)

課題と目的	課題： 空き家は適切に除却（解体）することが重要であるが、資金が1つのハードルとなり、解体されずに放置される場合がある。 目的： 残置物を再資源化し適正価格で市場流通することで、その売上をもとに空き家の除却の資金面のハードルを下げる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○残置物再資源化に向けた検討（空き家所有者へのヒアリング、購入者へのアンケート） ○モデル空き家での残置物撤去、解体フローの整理 ○残置物のトレーサビリティを明らかにするための仕組みづくり ○常設の販売所設置に向けた検討
成果	残置物再資源化について空き家所有者の感覚と残置物購入者の購入可能性について把握できた。常設販売所設置に向けた残置物整理が進められた。

具体的な取り組みと成果

- ①残置物を活用したマーケットとワークショップを開催
残置物を再販するマーケットイベントと活用ワークショップを開催し、再販市場の可能性を探った
- ②空き家所有者へのヒアリングと購入者へのアンケート
空き家所有者に残置物の販売可能性についてヒアリングをおこない、売れるなら売りたいの反応が大半であった。
- ③残置物のトレーサビリティを明らかにする仕組みの開発
残置物がどこから出てきて、どう保管され流通するかを管理できる仕組みを開発した
- ④モデル物件(実際に解体)の解体見積り、残置物撤去実施による解体業務フローと残置物整理手法の検討

残置物の再資源化は十分に可能性があるが、解体費に占める割合が少なく、大きなインパクトはだしにくい。しかし、トレーサビリティを掴むことで、素材としての残置物を捉え直すことで地域文化の継承をすすめられる。

